

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名【新】特定外来生物防除対策事業費市町村補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生物多様性係

電話番号：058-272-1111(内2923)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 43,960 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	43,960	21,980	0	0	0	0	0	0	21,980
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内には、生態系、人の生命若しくは身体、農作物や家屋に被害を及ぼす特定外来生物が生息している。

令和4年5月に改正特定外来生物法が成立、公布され、特定外来生物の防除に関する県の義務規定及び市町村の努力義務規定が、公布から1年以内に施行される。

特定外来生物の防除を推進するためには、市町村と地域住民が一体となり協力して取り組むことが欠かせないことから、特定外来生物の防除に取り組む市町村を支援する。

(2) 事業内容

特定外来生物の防除に取り組む市町村を支援する。

【実施主体】市町村

【補助率】事業費の10/10以内

(3) 県負担・補助率の考え方

改正特定外来生物法において、国内未定着のものは国が、既定着のものは県が防除する責務が規定され、市町村は努力義務となっている。特定外来生物の防除に市町村における取り組みは欠かせないことから、特定外来生物の防除に関する費用分の補助率10/10以内は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	43,960	市町村事業への補助
合計	43,960	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・特定外来生物被害防止基本方針（令和4年9月変更）
- ・第6次岐阜県環境基本計画 基本施策3（3）○外来生物の防除
- ・生物多様性ぎふ戦略 1-4 外来生物・国内外来種の防除

(2) 国・他県の状況

- ・国 — 交付金による支援（交付率は1/2又は定額）
- ・他県 — 現状において特定外来生物の防除は基本的に市町村であるため、これを維持

(3) 後年度の財政負担

R5年度以降、国内で定着が確認されている特定外来生物の防除は県の義務となる。

(4) 事業主体及びその妥当性

R5年度以降、国内で定着が確認されている特定外来生物の防除は県の義務となる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	特定外来生物防除等事業費（市町村補助金）
補助事業者（団体）	市町村 （理由）地域の生態系に生ずる諸問題は、地域住民と一体となって取り組むことが期待されることから、地域の事情に精通した市町村の支援を実施する。
補助事業の概要	（目的）地域の生態系を保全・再生する。 （内容）市町村が行う特定外来生物防除の取組みを推進する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率10/10以内 （理由）市町村による特定外来生物の防除は努力義務のため
補助効果	特定外来生物の防除が図られる。
終期の設定	終期令和8年度 （理由）第3期清流の国ぎふ森林環境基金事業の終期と同じ年度に設定

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
特定外来生物の防除に取り組む市町村を支援し、地域の生態系の保全等を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①特定外来生物の防除に取り組む市町村数	—	/	/	9	10	/

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和3年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
